

開発手順書

サマリ

unipp 開発のための手順書です。 以下の内容を内包しています。

1. 必要となる知識
2. unipp の個人開発環境の構築
3. 開発の手順
 - 開発フロー
 - Git 運用について
 - Issue/PullRequest ののラベル付けルール
 - コーディング規約
 - レビューについて

1. 必要な知識

サマリ

- git
 - コードのバージョン管理のための管理のためのツール
 - 参考:<https://backlog.com/ja/git-tutorial/>
- Docker
 - unipp では環境構築のために利用している
 - docker を用いることで、OS に依存せずに開発できるようにしている
 - 参考:<https://docs.docker.jp/>
- TypeScript
 - JavaScript の上位互換であり、静的にコードをを解析するため、実行せずにエラーを検知可能で、バグの予防につながる
 - 参考:<https://typescript-jp.gitbook.io/deep-dive/>
- React
 - Meta(旧: facebook)が開発した UI 構築のための JavaScript ライブラリ
 - 参考:<https://ja.reactjs.org/>
- chakra-ui
 - React 向けの UI コンポーネントライブラリ
 - 参考:<https://chakra-ui.com/>
- Firebase
 - unipp では主に、4 つのサービスを利用している
 - Cloud Firestore
 - NoSQL 型の DB
 - アプリ内で用いるデータを保管
 - 参考:<https://firebase.google.com/docs/firestore>
 - Cloud Storage for Firebase
 - 写真や動画等の Raw データは Firestore で保存できないため、Cloud Storage で管理している
 - 参考: <https://firebase.google.com/docs/storage>
 - Firebase Authentication
 - ユーザのアカウント作成, ログイン認証などをを実装するために利用

- 参考: <https://firebase.google.com/docs/auth>

- vercel

- unipp のデプロイ先
- main ブランチにコードを push すると、自動でデプロイされるようになっている
- 参考: <https://vercel.com/>